実践報告　「生物の声」　附属島田中学校　大久保正樹

中学１年　生物分野　「生物の世界：身近な生物の観察」　観察：校庭周辺の生物の観察

中学校１年生の最初の授業は「生物の観察」。先生方はどのように生物を観察させて、結果の記録、考察をしているだろうか。多くの場合、「生物カード」という記録用紙に、生物名や生物がいた場所、その生物の特徴を記録させているのではないでしょうか。私はその記録の中でも、「生物の特徴」の記録をただ単に特徴を羅列して表現させるのでなく、『生物の声』と題して、生物自身が自分自身の特徴を紹介するかのように表現させてみました。下図は実際に生徒が書いたものです。

授業参観の様子①

授業参観の様子②

１人３つ以上の生物を調べ、島附生物ミュージアムと題して授業参観で発表しました。取り上げている生物の特徴だけでなく、類似した生物を比較対象として記述（紹介する）ことにより、より深くその生物について学ぶことができており、生徒間の共有の場でも同じ生物を調べた生徒同士で互いに知らなかったことを共有したり、保護者からの質問から新たな疑問を見出したりする様子が見られました。

この課題に取り組む際に、「島附に生息する生物を図鑑としてまとめたい」という思いを生徒と共有しています。上記の活動が終わり、生物の分類について学ぶことを通して、最終的に「島附生物図鑑」が完成できればと考えています。